

青葉通信

第12号

発行
社会福祉法人
中日新聞社会事業団
中日青葉学園

施設養護から家庭養護へ

— 児童福祉政策 大転換 —



児童福祉をめぐる国の政策が大きく変わります。二十三年夏、児童養護施設等の社会的養護の課題に関する検討委員会などがとりまとめた「社会的養護の課題と将来像」を受けて、厚生労働省家庭福祉課が取り組みを始めた。

社会全体で子どもを育む

それによると、まず、社会的養護の基本理念として①子どもの最善の利益のために

- ②社会全体で子どもを育む社会的養護の原理として
 - ①家庭的養護と個別化
 - ②発達保障と自立支援
 - ③回復を目指した支援
 - ④家族との連携、協働
 - ⑤継続的支援と連携アプローチ
 - ⑥ライフサイクルを見通した支援
- を挙げ、社会的養護の基盤作りとして「大規模な施設

中日青葉学園 理念

「和」

人の輪を広げ、豊かな心を育て、未来に向けて子どもと共に歩み、地域福祉の向上に貢献します。

方針

- 1 家庭的なホーム生活を通じ、子どもたちの情緒の安定を図り、安全で安心できる生活を提供します。
- 2 スポーツ・文化活動を通じ、仲間との連帯感、心身の健康、豊かな心、忍耐力を育みます。
- 3 児童の権利擁護に努め、子どもたちの言葉に耳を傾け、社会的責任と自分たちの権利、義務について共に考え、自立を支援します。
- 4 地域との交流を深め、地域の子育て支援・ボランティア支援の役割を担い、地域に開かれた参加型の施設を目指します。
- 5 外部の専門機関との連携を深め、子どもたちにとって、より良い支援を行います。
- 6 「子どもの最善の利益」を念頭に、職員の教育・研修を行い、自己研鑽に努めます。

ケア単位の小規模化

7割が大舎制である児童養護施設ではケア単位の小規模化と施設機能の地域分散化により家庭的養護を推進、情緒障害児短期治療施設では、児童養護施設の入所児童が必要な場合は情短施設へ通所利用可能とする

養護から一人ひとりの子どもをきめ細かく育むように変革、そのために里親やファミリーホームを優先、施設養護も小規模な養育環境に変えていく。さらに施設は社会的養護の地域の拠点として退所者、里親などさまざまな支援に当たる」とし、子育て支援施策と連携することを求めています。

など施設種別ごとに課題と将来像を示した。

その上で、社会的養護の共通事項の課題と将来像について

- ①施設の運営の質の向上
- ②施設職員の専門性の向上
- ③親子関係の再構築支援の充実
- ④自立支援の充実
- ⑤子どもの権利擁護
- ⑥施設類型の在り方と相互連携
- ⑦社会的養護の地域化と市町村との連携

を挙げました。

各項目について具体的に①二十三年度に施設種別ごとの運営指針を設け、手引書を作成。自己点検の推進と第三者評価受審を

義務付け

- ②施設長の役割を強化したのに伴い、施設長の資格要件を最低基準で定め、研修を義務化など
- ③施設内の親子関係再構築支援体制の確立など
- ④自立生活能力を高めるため措置延長、就職支度費増額やアフターケアを推進
- ⑤被措置児童等虐待の防止を徹底など
- ⑥児童養護施設、情緒障害児短期治療施設などでの連携推進など
- ⑦施設機能を地域分散し、施設を地域における社会的養護の拠点とするなどを示しています。

さらに、子どもへのケアの質を高めるため職員配置

を充実させ、現在、里親、ファミリーホームの児童受け入れが一割程度であるのを十数年後には三割〜四割に引き上げることを想定しています。

あおば館

小規模ケアに取り組む児童養護施設あおば館では、子どもたちを小集団で育てるケアの小規模化に対し、小規模グループケアを二十五年秋実施に向けて準備を進めるほか、あおば館と情緒障害児短期治療施設わかば館との連携などについて事業計画に織り込み、時代に即した運営に当たっていきます。

全社協・全国児童養護施設協議会

倫理綱領

- 1 私たちは、子どもの利益を最優先した養育をおこないます
- 2 私たちは、子どもの理解と受容、信頼関係を大切にします
- 3 私たちは、子どもの自己決定と主体性の尊重につとめます
- 4 私たちは、子どもと家族との関係を大切にしたいと努めます
- 5 私たちは、子どものプライバシーの尊重と秘密を保持します
- 6 私たちは、子どもへの差別・虐待を許さず、権利侵害の防止につとめます
- 7 私たちは、最良の養育実践を行うために専門性の向上をはかります
- 8 私たちは、関係機関や地域と連携し、子どもを育みます
- 9 私たちは、地域福祉への積極的な参加と協働につとめます
- 10 私たちは、常に施設環境および運営の改善向上につとめます

2010年5月17日 制定

半年の出来事

12月

23日 名古屋スポーツセンターのスケート招待



26日 施設長会フットサル大会



30日 もちつき大会

1月

1日 猿投神社へ初詣

13~15日 白山スキー村に中学生参加

21日 NFD県支部のフラワーアレンジ教室



28~29日 陶芸教室で顔作り



2月

5日 親善マラソン大会



22日 あおば館性教育セミナー

25日 旅立ちセミナー

3月

3日 わかば館お別れ食事会

8日 日進中学校卒業式(14人)

10日 サッカー交流会でわかば館優勝

11日 っしんわいわいマラソン、青葉友の会総会

19日 北小学校卒業式(6人)



20日 巣立ちの会、卒園パーティ、学園退職職員離任式

24日 ベタニヤ幼稚園卒園式(3人)

25日 テーブルマナー教室

26日 ラーメン昼食会

29日 移動動物園来園



思い出いっぱい 涙の瞬間 巣立ちの会 卒園パーティ



卒園を祝う「巣立ちの会」が三月二十日、学園多目的ホールで開かれました。年度末を機に家庭復帰したり、就職して自立したりする子どもたちを送り出す恒例の学園行事。ことしの対象者は、あおば館十二人、わかば館九人の計二十一人。内訳は高校を卒業し短大へ進学するあおば館女子二人、わかば館女子三人、社会人となるあおば館男子二人、女子二人、わかば館男子二人、女子一人。高校を中退、自分の道を進むあおば館男子二人、中学校を終え家庭から高校進学するあおば館女子一人、わかば館男子二人、女子一人。あおば館の男子幼児一人、小学生三人の計二十一人。

このうち十三人が参加しました。会には児童相談センター、青葉分枝教諭、ボランティア、学園職員、在園児童約二百人が集まりました。学園長が一人ひとりに、はなむけの言葉を述べ、中日新聞社会事業団の深見豪常務理事が中学・高校卒業記念品、三菱東京UFJ銀行の江頭昌彦名古屋営業第四部長が卒園記念品を中学生以上に手渡しました。卒園生一人ひとりが順番にスクリーンに写し出した思い出の写真をバックに学園での生活を振り返り、新生活の決意を語りました。続いて、在園生代表がメッセージを読み上げ、みんなで贈る歌を歌いました。会場は日本フラワーデザイナー協会愛知県支部の協力で菜の花など季節のフラワーアレンジメントが飾ら

夕方からは、多目的ホールで両館合同の卒園パーティ。夕食をとりながら子どもたちのバンド演奏などで盛り上がりました。この日もスターバックスコーヒー日進竹の山店のご厚意でおいしいコーヒーを頂きました。

あおば館パート職員▽内田宏太郎▽三年四月、おひつじ座▽松原市▽子どもたちと毎日笑顔が溢れるような日々を過ごしたいです。持ち前の明るさと筋肉で何事にも全力で取り組んでいきます。同パート職員▽渡辺亮太▽し座▽岐阜県▽一年間仲良く楽しく過ごしましょう。

【あおば館】▽五年 伊藤清美 調理員(十二月一日) 松田正憲 園長(二月一日) 川角恭代 指導員(四月一日) 次の方を永年勤続表彰しました。

祭 3年ぶり! 盛大に青葉まつり



第十五回青葉まつりがボランティア団体青葉学園グラウンド、多目的ホールを会場に開かれました。二十一年は新型インフルエンザで規模縮小、二十二年は台風で延期を余儀なくされ、今回、好天にも恵まれ、三年ぶりに盛大に行うことができました。グラウンドには「カレー」や「焼きそば」「お好み焼き」などの模擬店が並び、多目的ホールではフリーマーケット、ゲームコーナーが、子どもたちの人気を集めました。特設舞台上では和太鼓、バンド演奏を披露しました。子どもたちが実行委員となって企画、運営に当たり、福祉施設からの出店もあり、地域の人たちとも交流する大

きな行事です。愛知県アミューズメント施設営業業者協会、近藤産興、スターバックス、コーヒー日進竹の山店、全国青年司法書士協議会さんなど多くの方から協力を頂きました。東日本大震災を受け、子どもたちが募金活動をし、一万四千円を岩手県の施設に贈りました。

中日青葉学園年度末旅行

多額寄付をいただき、年度末の旅行に出かけました。わかば館 2月18日 志摩スペイン村「バルケエスパニャ」日帰り、夕食は松阪で「焼肉食べ放題」。45人。あおば館3階 ひのき、もみじ 2月25~26日 各務原市「世界淡水魚園水族館アクアト」、岐阜市科学館、ナガシマスパーランド、海津温泉 宿泊。45人。あおば館2階 けやき 3月17~18日 大阪ユニバーサルスタジアム、科学館、大阪市内ホテル 宿泊。25人。あおば館2階 しらかば 3月24~25日 おかげ横丁、伊勢安土桃山文化村、鳥羽市内ホテル 宿泊。25人。

新人です。よろしく (所属、名前、生まれ、一言、好きな動物) 同保育士▽平尾直之▽かに座▽名古屋▽自分らしさを大事に子どもたちと楽しく過ごしていきたいです。わかば館児童指導員▽加藤千聖▽二階▽瀬戸市▽子どもたちと一緒に毎日笑顔で過ごしたいです。自分も成長していきたいです。同心理士▽湯本敦子▽八七年九月▽名古屋▽皆さんと楽しく笑顔で過ごしていきたいです。あおば館パート職員▽内田宏太郎▽三年四月、おひつじ座▽松原市▽子どもたちと毎日笑顔が溢れるような日々を過ごしたいです。持ち前の明るさと筋肉で何事にも全力で取り組んでいきます。同パート職員▽渡辺亮太▽し座▽岐阜県▽一年間仲良く楽しく過ごしましょう。

二十三年度職員表彰 寺井陽一 指導療育部長兼 あおば館指導課長、大嶋隆志 わかば館主任心理士、愛知県施設機能強化検討委員として県報告書まとめに寄与 阿尾匡晃、児童貴あおば館児童指導員、具児童福祉施設長会のフットサル大会でチームを中高生の部優勝、小学生の部準優勝に導いた 宮田典幸 わかば館児童指導員、長年にわたり学園玄関前の通路手すりに児童が遊ばないよう四季折々のプレートを設置 わかば館職員一同(代表、石垣儀郎指導課長、暫定定員となった二十三年度、職員が一体となって多くの新入所児童に対し適切な対応に当たり、二十四年度、暫定を解消)

半年の出来事

10月

1日 北小学校運動会
10日 あおば記録会
13~14日 日間賀島へ職員旅行

11月

2日 日進中学校文化祭
17日 北小学校学習発表会
19日 施設長会音楽の集い(豊川市)



20日 日進グリーンハイツ自治会との合同地域防災訓練



21日 韓国晋州社会福祉協議会関係者見学



30日 フレベールケーキ作り



12月

1日 夜間避難訓練



10日 NFD県支部のクリスマスリース教室



17日 中日森友隊園内整備ボランティア



22日 愛知中央ライオンズクラブからプレゼントもあったクリスマス会



温かい支援に感謝

一月十二日、タイガーマスクを被った男性が昨年に続いて学園を訪れ、十万円を職員に手渡しました。居合わせたあおば幼稚園の子どもたちが面会、声を合わせて「ありがとう」とお礼。預かった手紙には「子どもは日本の宝です。東郷町の伊達直人」と書かれています。

また、年末に、匿名の方から三百万円、三月には、昨年同様、名古屋市内の方から進学進級祝いを、さらに三十年ほど前の卒園生の親族から「お世話になりました」と百万円を頂きました。



大学進学支援

中日新聞社会事業団が昨年創設した「卒園児童大学進学支援金」の第一号をこの四月、あおば館、わかば館から短大へ進学した女子二人に贈りました。



伊藤選手訪問

一月二日、中日ドラゴンズ伊藤選手が学園を訪れ、児童と理美容奉仕団体竹の子会のメンバーと交流しました。伊藤選手は岐阜城北北高出身、昨シーズンは二勝あげ、今後が期待される若手です。「三連覇できるよう頑張りたい」とい



学園パンフレット

学園を紹介するパンフレットを刷新しました。A4版、見開き四ページ、カラー、六千部を印刷。

表紙は昨春秋、五年ぶりに中日新聞写真部にお願した航空写真です。二、三、四面に子どもたちが描いた絵の中から、学園での生活の様子、自分たちの夢などを表した二十二点をレイアウトしました。



安全対策

子どもたちが安心して学園で暮らせるように安心子ども基金、C B Cチャリティ募金を利用し、①あおば館廊下を転倒時の衝撃を緩和する床に張り替え②あおば館一階階段に扉を増設③退所支援施設「のぞみ」裏への立ち入り防止のフェンス新設④グラウンド西側フェンス改修⑤正面進入路に外灯増設をしました。



床を張り替え

フェンス改修

外灯増設

問題行動

十二月上旬、実習生から「小学校高学年女子数人が男子幼児を布団巻きにするなど度の過ぎたいたづらをした」との通報があり、加害者を指導、再教育し、幼児と保護者に謝罪しました。

十一月、全職員の意識レポートからあおば館保育士の不適切な関わりが判明、権利擁護への取り組みを再確認しました。

福祉避難所

二十三年十一月、日進市と「災害時要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」を締結、「福祉避難所指定施設」として予想される大地震の際、学校などの避難所での他の児童と一緒に生活することが難しいと思われる児童を受け入れることになりました。

第三者評価

あおば館は二十一、二十二年に続き福祉サービスマターサーブ評価を受審しました。二十二年の結果を受け、適正なケアに当たった結果、八十六項目(前年同数)のうちAが八十二項目(同七十九)、Bが三項目(同六)、Cは一項目(同一)と向上が見られました。C評価は管理部門での外部監査をしていない項目。B評価のうち二項目は管理部門、一項目はサービスマターの確保でした。

また、「子どもへのヒアリング」では過去二回、子どもたちが職員への対応に満足していない点が見られましたが、今回、「職員が自分たちの声に十分耳を傾けてくれる」との回答が増え、改善されました。

二十三年度、非常勤看護士を配属、それまで職員が行っていた児童の各種予防接種、病気が対応、通院に当たり、職員が子どもへ関わる時間が増えたためと思われれます。

ありがとうございました

(四万四四百円)コバック東郷三好店 (一万二千二百五十円)戸谷敏治、真能秀久(二万円)萩野祐子、浜島司保花、大橋祥久(三万円)羽田洋一(五万円)小野寺節子、白山宮、日本鏡餅組合、中部善意銀行、名古屋スポーツセンター、イトビ、さんわコーポレーション、愛知ミタカ運輸、都筑、白竜神社、三菱商事中部支社、トヨタ自動車、スターバックスコピー、ジャパニーズ、日進竹の山店、愛知県アミューズメント施設業者協会、お菓子の家、まっぴい、アドイースト、ロイヤルホームセンター、日進市更生保護女性会、名古屋更生保護女性会、全国青

年司法書士協議会、マリオン日進店、日本フラワーデザイナー協会愛知県支部、劇団飛行船、光栄塗装、花王ロジステック、興亜商事、地方紙正月連合、劇団うりんこ、日産労働、二トリ、下畑加代子、三菱東京UFJ銀行、Lulu香久山、コカコーラセンター、ラジエイト、全国シヤンメリーランパシエイト、菅沼三佐子、名古屋グランドジャズ、全国シヤンメリー協同組合、新生紙パルプ商名古屋支店、僕のAパン日進店、慈眼寺金子和夫、なごやかサポートみらい、名糖産業、ウインググループ、名古屋屋タイムズ印刷、東ソーニッケミ、カルビー、家電プラザ新橋、匿名以上物品、招待 (順不同、敬称略)

平成24年度 中日青葉学園予算

あおば館 (単位:円)		わかば館 (単位:円)	
収入の部	支出の部	収入の部	支出の部
1. 掛置費 179,322,000	1. 人件費 139,049,000	1. 掛置費 138,032,000	1. 人件費 116,672,000
2. 補助金 18,020,000	2. 事務費 18,211,000	2. 補助金 6,380,000	2. 事務費 11,537,000
3. 寄附金 4,500,000	3. 事業費 58,002,000	3. 寄附金 1,600,000	3. 事業費 27,652,000
4. 雑収入 4,410,000	4. 固定資産取得 0	4. 雑収入 1,339,000	4. 固定資産取得 500,000
5. 利息配当 10,000	5. 整備積立金 5,000,000	5. 利息配当 10,000	5. 整備積立金 0
6. 繰入金 10,000,000	6. 人件費積立 1,000,000	6. 繰入金 10,000,000	6. 人件費積立 0
7. 積立預金取崩収入 6,000,000	7. 修繕費積立 1,000,000	7. 積立預金取崩収入	7. 修繕費積立 1,000,000
合計 222,262,000	合計 222,262,000	合計 157,361,000	合計 157,361,000

社会福祉法人中日新聞社会事業団
〒460-8511
名古屋市中区三の丸1-6-1
中日新聞社1階
電話052(221)0580
ファクス052(221)0839
中日青葉学園
〒470-0131
愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164
児童養護施設「あおば館」
電話0561(72)0134
ファクス0561(74)2315
児童心理治療施設「わかば館」
電話0561(74)7752
ファクス0561(72)7557

編集後記
学園に来て六年目を迎えました。「施設養護から家庭養護へ」。社会的養護のあり方が劇的に変わろうとしています。日々のケアに追われる職員、そして施設長の役割は増すばかりです。初心にかえって取り組んでまいります。(M)